



新しい年を迎えろ



副議長  
早川 光 圀

市民の皆様には希望に満ちた新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

わがふるさと甲府は、名実ともに県都にふさわしい都市づくりにまい進しておりますことは、ひとえに、市民の皆様の温かいご協力並びにご支援の賜と心から感謝申し上げます。ご承知のとおり、わが国を取り巻く諸情勢は、景気の回復にしろ光が見い出されたものの、依然として厳しいものがあります。

本市も一段と厳しい財政運営が予想されるなかで、都市の活性化、文化化を中心に当面する課題に取り組んでいるところであります。私どもは、皆様から寄せられた信頼と期待にこたえるため、市民生活の向上を根幹に据え、執行機関と連携のもとに、市民の皆様温かいご協力を得ながら市政推進のため格段の努力を傾注してまいる所存であります。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

おもな内容・ページ

- 新しい年を迎えて……………1
- 一般質問・定例会審議日程……………2
- 一般質問・定例会質問要旨……………3
- 一般質問・提出議案と内容……………4
- 一般質問・委員会審査の主な内容……………5
- 決算審査特別委員会……………6
- 地方行財政対策に関する調査特別委員会  
委員会の調査状況・意見書……………7
- 請願の審査結果・議会を傍聴して  
会派が一部変更……………8



十二月定例会は、十二月十五日に招集され、会期を九日間と決め、閉会中継続審査となっている昭和五十七年度甲府市各会計別決算及び各企業会計別決算を認定、市長から提出された条例の一部改正五件、補正予算十件、財産の取得二件、その他人事案件等六件について審議しました。一般質問は各党会派を代表して中込孝文（社会党・市民連合）堀内光雄（公明党）牛奥公貴（市政同志会）武川和好（日本共産党）塩野豊明・依田敏夫・森沢幸夫（政新会）堀口菊雄（政友会）の各氏が行い、市長等に答弁を求めましたがいずれも当局原案のとおり可決・並びに同意されました。このほか意見書二件の提出を決め十二月二十三日閉会しました。一般質問の主なものとは次のとおりです。

### 下水汚泥コンポストの処分 公社方式を検討

【問】下水汚泥コンポストの流通問題等に対する考え方と対応及びなぜ公社方式を採用しようとしているか伺いたい。

【答】下水汚泥コンポストの施設については、今年度中に四分の一の系列が電気、機械を含め完成する。従って、昭和五十九年度早々から実負荷運転に入り、第一号製品は来年の夏頃誕生する予定であり、土壌改良用肥料として、農林業生産促進のための土づくりの役目を果せるようにして参りたいと考えている。そこで、これらのコンポスト製品を如何にして農家の方々に使って貰うかと言うことが問題であり、流通については、各機関、各農林業者の協力を仰がねばならない訳だが、市として、どのように対応していくべきか、現在調整会議で検討している。

今年の夏頃までに諸般の準備を整え、流通の問題も含めて万全を期して参りたい。

また、運営の形態としては、公社方式のほかに、直営又は民間委託の方法が考えられる。

直営でおこなう場合、市場経済の動向、利用者のニーズに弾力的に即応し得ない問題点があり、又民間委託にする場合には、下水汚泥の処理処分の一環という側面を脱皮できない事業であり、また安全性、有効性等についても追跡を行う必要がある。販売価格についても、利用者に喜ばれるよう、出来得る限り安価で供給をしなければならぬという問題等も存在する。

民間委託では、この趣旨を損う危険があるので、公益性を担保できる公社方式の方向で検討をすすめている。

### 市立病院が 「検診部」新設に努力

【問】市立甲府病院の五十八年度の決算見直し及び山梨医科大学の影響対策について聞きたい。

【答】今年度上半期の状況は、一応例年並みに推移しているが、下半期においては、山梨医大のオープン等によると思われる影響も出はじめて、五十八年十一月の患者数は外来患者を中心に若干減少している。

今までも経営の健全化に取り組んで参ったが、本年一月の薬価基準の引き下げ、山梨医大の影響、更に五十八年度中に予想される薬価基準の再

引き下げ等、病院を取りまく環境はますます厳しくなるものと予想される。



市立病院

そこで、病院業務全体の見直しをすべく院内にプロジェクトチームを編成し対策の検討を進めている。

いずれにしても、今年度は相当きびしいものになると予想されるので、なお一層経費の節減を図り、前年度並みの収支決算ができるよう努力して参る考えである。

医大の影響については、今後強くあらわれてくるのは必至と考えられるので、院内体制をまず強化すべく組織の見直しをしている。それにより診療部、検診部、看護部、薬剤部の四部を設ける予定であり、なかでも検診部の設置により、人間ドック及び各種検診の受入れ体制を整え、これによる需要を期待している。

また、業務の合理化により、経費の節減を図るため業務システムほかプロジェクトチームを設けて問題提起と対応策等を具体的に検討しつつある。

さらには、患者減に対する対応として、今後は病床利用の能率化に向けて取り組んで参りたいと考えている。

### 十二月定例会 審議日程

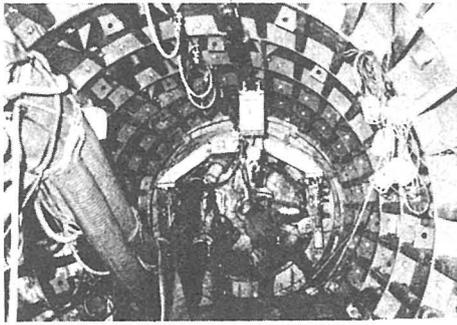
12月15日(木)	開会・提案理由の説明
16日(金)	議案調査のため休会
17日(土)	休会
18日(日)	休会
19日(月)	休会
20日(火)	本会議 質疑及び市政一般質問
21日(水)	本会議 質疑及び市政一般質問 各委員会付託
22日(木)	各常任委員会 本会議
23日(金)	各常任委員会報告 閉会

### 死亡事故の 対応策は

【問】交通安全対策の今後の対応を聞きたい。

【答】関係機関をはじめ、市民の協力を得ながら努力をしているところであるが、事故はここ数年増加傾向をたどり、特に悲惨な死亡事故は、残念ながら五十七年に引きつづき五十八年も大幅な増加をしている。

交通事故の防止には、なんといっても、市民一人ひとりが、交通ルールや交通モラルを守ることが重要であるので、関係機関、関係団体との連携、協調をさらに深め、安全意識の啓発、啓もうに、尚一層積極的に取り組んで参りたい。



下水道工事（シールド工法）

# 健全財政の堅持を

【問】昭和五十九年度予算編成方針及び繰出金、債務負担、公債費が多額だが、健全財政が堅持できるか聞きたい。

【答】総選挙により国の予算編成が五十九年一月にずれこみ、計数的には不明確であるが、国は歳出全般にわたってマイナスシーリングを基調として、超緊縮の予算編成が考えられる。

本市の場合、市税収入伸率の鈍化、地方交付税の減収等、一般財源の大幅な伸びは期待できないが、国体等の主要事業の推進と併せて、都市活性化、行政の文化化を図って参りたいと考えている。

従って、公平課税による税源確保、

使用料手数料の見直し等、一般財源の確保につとめ、重点的、効率的な財源配分によることを基本に、  
(一) 国、県補助事業は十分検討し、制度の廃止、縮小による市単独事業への肩代りは認めない。

(二) 既定の事務事業についても見直しを行い、一層の行政効果を図る。  
(三) 単独補助、物件費については、その目的、効果、責任分野等の明確化を図り、経費の節減につとめ、前年度予算よりマイナスシーリングとする。

以上を基本方針として予算編成を行って参る考えである。

また、繰出金等の伸びによる健全財政の堅持については下水道事業を初め、九特別会計に対する一般会計からの繰出金は、五十三年度十三億六千八百万円、五十四年度十七億九百万円、五十五年二十三億三千二百万円、五十六年度二十四億一千九百万円、五十七年度二十九億五千九百万円と過去五年の平均対前年伸び率は十八・四%と高まっている。

今後は下水道事業については、昭和六十二年に六十八パーセントの普及率をめざし、更に老人保健事業会計についても、ある程度の伸びをみて、その他は伸び率ゼロを予定している。

債務負担額の昭和五十八年度以降の支出予定額は、二十一億七千五百万円で、毎年三億四千万位の償還を予定している。

公債費は、昭和五十七年度決算で十八億九千一百万円で、公債費比率

は九・二パーセントとなっている。今後一般財源の伸びの鈍化を考えると、公債費比率は二桁台になると予想される。

このような中で、健全財政を堅持する上から、市税を初めとする一般財源の確保と、国の行財政改革の推移をみながら、より確実な収入をみて重点的に財政運営を図って参りたい。

特に後年度負担となる起債についても、三十億円台ベースで対応しながら、行政経費の徹底した切り詰めで図り財政運営の健全性を保って参りたいと考えている。

## 老人医療費無料化の存続を要望

【問】老人医療無料化制度について、現行制度を継続していく考えはあるか、また「健康管理助成制度」についても引続き実施していくか伺いたい。

【答】老人福祉については、大変厳しい行財政の中ではあるが、全般的な福祉の後退はさせない考え方に立つて今後も取り組んで参りたい。

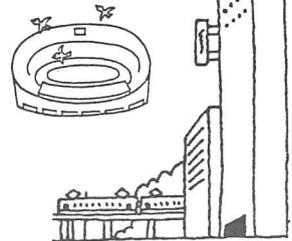
老人医療助成制度については、六十五才以上を対象とした現行制度を基本的に堅持するなかで対応して参りたい。また、「健康管理助成制度」については、国における厳しい指導という状況下にあるが、後退することのないよう、対応して参る考えである。

## 12月定例会質問要旨

氏名	会派	発言の要旨
中込 孝文	社会党・市民連合	市長の政治姿勢について 人事院勧告完全実施について 教育問題について (学校教育ほか) 環境問題について(特に公害対策について) 交通問題について(特に駅前整備について)
堀内 光雄	公明党	昭和五十九年度予算編成について 下水道事業について その他(老人福祉、青少年非行化問題等)
牛奥 公貴	市政同志会	教育関係一般について 調整区域見直しについて 下水道並びにコンポスト施設について 地場産業育成について
武川 和好	日本共産党	市長の政治姿勢について 下水道事業について(コンポスト) 老人福祉について
塩野 褒明	政新会	市長の政治姿勢について 市立甲府病院の経営について 緑化推進について
依田 敏夫	政新会	駅近代化・駅前広場整備について 教育行政について 公民館設置について 農政全般について 国体の対応について
森沢 幸夫	政新会	商工業活性化の具体策について 都市開発計画について 水道広域化と帯那地区水道について 消防団運営に関する 国体に向けてのスポーツ振興について
堀口 菊雄	政友会	観光対策と中小企業育成について 下水道事業見直しについて 市営住宅建設見直しについて 国体主会場周辺対策と交通対策について 甲府市立商業大学設置について

一般質問

新総合計画を  
着実に推進



【問】新総合計画の推進状況と計画の見直しについて考えがあるか聞きたい。

【答】本市の新総合計画は五十三年度から五十七年度までを計画期間の前期として推進し、総じてその具現化が図られ市民福祉の向上に一定の役割りを果たすことができた。

主要事業に投下した事業費は四三八億円であって、計画数値を上回っているところである。

しかしながら、五十八年度を初年度とする後期五か年を展望したときタイムリミットのある国体、駅近代化、地震対策等の大型主要事業への対応に多額の財政需要が見込まれる反面、国の財政再建の影響、経済情勢の推移等を勘案しながら後期五か年を見通す中で、財政計画との整合性と事業の年度間調整をはかり、五十八年度を初年度とする第五次実施計画を策定したものであり、これを基調に後期の計画を推進しているところである。

本市の新総合計画は市民ニーズや変化する行政環境にも的確に対応しながら計画を推進するため、三か年ローリングシステムをとっており、このメリットを最大限に活用し、

今後を着実に推進を基調に、新総合計画を推進してまいる考えである。

稲作転換の  
対応策は

【問】水田再編対策の今年度事業の実施経過と来年度からはじまる第三期対策の対応を聞きたい。

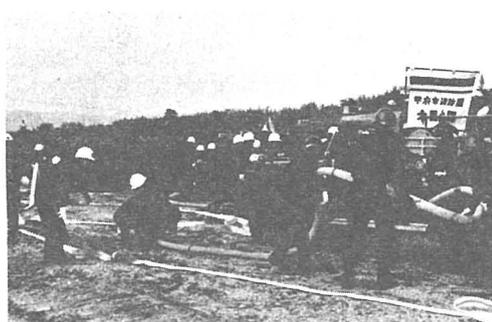
【答】今年度の水田再編対策事業については、対策協議会の意向を踏まえ、関係農業団体及び農家の理解と協力を得ながら推進して来たが、目標面積二五〇・三ヘクタールに対し、実施面積は二二一・二ヘクタールとなり、達成率は九二・四パーセントに終わった。

また、第三期対策の転作目標面積については、昨年の十二月十六日、県より二三六・九ヘクタールの指示があった。今年度より一三・四ヘクタールの減となっているが、農用地の潰廃等があり、なお厳しいものがあるが、達成、未達成により国の補助事業への採択に影響もあるので、次期対策の推進等については、年明けに対策協議会を開き、実施方針を

消防団員の  
処遇改善を検討

【問】消防団員の処遇改善及び消防団消防ポンプ自動車の更新計画について伺いたい。

【答】きびしい財政事情の中ではあるが、消防団員の皆さんの処遇を改善するため、昭和五十九年度には運営費等の増額について検討している。また、消防団のポンプ自動車の更新計画については、老朽の著しい十五年から十八年使用の車両を対象に消防本部のポンプ車を購入の都度貸与しているのが実情であるが、地元負担を出来るだけ少なくするため今後も引き続き更新計画を進めていきたいと考えている。



消防団の訓練

昭和五十八年十二月市議会  
定例会提出議案と内容

議案番号	件名	内容	議決内容
第一〇六号	専決処分について	市道東六条通り線の鋼製溝蓋不全による車両の横転事故にかかわる示談締結及び損害賠償額の決定について	承認
第一〇七号	専決処分について	甲府市つづしが崎公園の使用施設への土砂崩落事故にかかわる示談締結及び損害賠償額の決定について	"
第一〇八号	専決処分について	交通事故の示談締結及び損害賠償額の決定について	"
第一〇九号	専決処分について	昭和五十八年度甲府市一般会計補正予算(第四号)	"
第一一〇号	昭和五十八年度甲府市一般会計補正予算(第四号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	可決
第一一一号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一二号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一三号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一四号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一五号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一六号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一七号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一八号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第一一九号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第二号)	"
第二〇〇号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇一号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇二号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇三号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇四号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇五号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇六号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇七号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇八号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二〇九号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一〇号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一一号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一二号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一三号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一四号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一五号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一六号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一七号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一八号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二一九号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二〇号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二一号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二二号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二三号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二四号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二五号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二六号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
第二二七号	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	昭和三十八年度甲府市一般会計補正予算(第五号)	"
諮問第二号	人権擁護委員候補者の推薦について	支給日に関する規定	決定

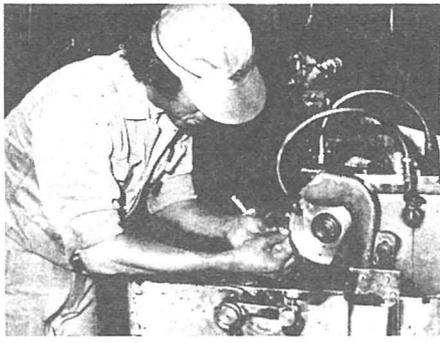
# 地場産業の

## 振興策を示せ

**問** 水晶研磨等地場産業が大変不況であるが、どのような振興策を行っているか聞きたい。

**答** 水晶研磨業等本市の地場産業が輸出の不振、中進国の追上げ、また国民の消費支出の減減で不況を続けていることは指摘のとおりである。

これら地域経済の中核である地場産業の活性化は急務であり、国、県の振興事業と協調をはかりながら、現在諸般の振興事業を行っているところである。



水晶研磨

特産品と観光とのセッティングの問題、地場産業振興センター建設による振興事業の展開、内需の刺激をはかる県外での物産展の開催などを行っているっており、また、六十一年国体開

催に向けて「宝石のまち」のイメージアップをはかる諸施策等に努力しているところである。

いずれにしても、今迄のように作れば売れる時代ではなくなり、真に個性的なセンスの良いものを作らねば消費者はもう買ってくれない時代である。

地域ブランドのイメージづくり、自社ブランドの開発等業界と行政が一体となって、産地基盤の整備をはかる必要があると考えている。

### 教職員の

### 研究会を統合



**問** 市教育委員会が主催する研究会、調査会の整理統合をどのように考えているか。

**答** 現在活動している研究会等は、教育の今日的话题の観点から必要性の高いものだが、次のような方針で整理統合を進めている。

- (一) 総合的に考えるため、教育評価の研究会を、教育課程研究会に含める等、統合一体化すること。
  - (二) 委員数、開催数を順次減らしていくこと。
  - (三) 効果的な運営方法を工夫し、内容充実に努めること。
  - (四) 夏季休業中を利用し、集中して実があるようにすること。
- 今後においても、漸次整理、統合の方向で努力して参りたい。

## 委員会審査の

### 主な内容

本会議において、各委員会に付託された案件について十二月二十二日委員会を開会、慎重に審査した結果の、主な内容は次のとおりです。

#### 総務委員会

議案第一一〇号一般会計補正予算(第四号)中当委員会所管分については、特に教育費のうち、幼稚園の就園奨励費について、この制度については、多くの市民が受けられるようなお一層の配慮を要望する意見があり全員異議なく当局原案のとおり可決しました。

#### 建設委員会

議案第一〇六号 専決処分については、道路上の事故防止の上からもパトロールの強化に加え故障箇所等について、地域住民から早期通報等の協力を得るようなシステムづくりを要望する意見があり、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。

#### 民生委員会

議案第一一九号水道事業補正予算(第二号)については、下水道工事に伴う配水管布設替工事にかかわる増額補正であります。委員から下水道工事の施工している箇所があることを指摘し、今後下水道工事施工にあたっては、当初計画の時点で下水道部と十分連携を密にし、技術的に考慮する中で的確なる計画をたて、効率的な予算執行を図るよう要望し、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。

#### 水道委員会

議案第一一九号水道事業補正予算(第二号)については、下水道工事に伴う配水管布設替工事にかかわる増額補正であります。委員から下水道工事の施工している箇所があることを指摘し、今後下水道工事施工にあたっては、当初計画の時点で下水道部と十分連携を密にし、技術的に考慮する中で的確なる計画をたて、効率的な予算執行を図るよう要望し、全員異議なく当局原案のとおり可決しました。

### 市議会議長

## 長瀬正左衛門氏

### 逝去

第六十四代市議会議長、長瀬正左衛門氏は、去る一月九日心不全のため県立中央病院で急逝されました。

故長瀬議長は、昭和四十六年五月市議会議員に初当選いらい連続四期十三年余りの長きにわたり、議会運営委員会委員長、民生委員会委員長、甲府駅近代化促進に関する調査特別委員会委員長を歴任



委員長を歴任 昨年五月から第六十四代議長に就任して長に就任して間、市政有功章、全国市議会議長会会長表彰等を受章するなど、その議会活動の手腕は、今後の市政発展に期待をされておられ、誠に悔やまれてなりません。

謹んでご冥福をお祈りいたします。なお、葬儀は甲府市議会葬として一月二十九日午後一時より市立東中学校屋内体育館において執り行われます。



# 決算審査特別委員会

## 委員会審査の主な内容

九月定例会において閉会中継続審査となっていました昭和五十七年度甲府市各会計別決算の認定について、及び昭和五十七年度甲府市各企業会計別の決算の認定についての二案について、十一月十四日から十一月二十一日までの間六日にわたり慎重に審査いたしました。

その結果、甲府市各会計別決算のうち、一般会計決算、並びに住宅新築資金等貸付事業特別会計決算については、住宅貸付金の回収率が低い等の反対討論があり採決の結果賛成多数をもって、他の各会計別決算並びに各企業会計別決算については、いずれも全員異議なく、当局原案のとおり認定いたしました。

審査の主な内容は次のとおりです。

### 昭和五十七年度 決算を認定

総括質問では、昭和五十七年度決算を通じての本市行財政全般にわたり論議が交されました。その中で当局から明らかにされた主なものは次のとおりです。

財政運営については、今までは市税の年平均一・二・三パーセントの伸びを示した財源を背景として積極的に住民福祉の向上のための施策を行ってきたが、今後は市民税の減税等が予想され、過去の二分の程度の伸びしか期待できない状況にある。したがって本市独自の施策を選択する余地は大幅に減ったが、国県の財政実態からしてもそうせざるを得ない

と思われる。これらの状況から本市の財政運営を判断すると過去においては健全財政が堅持されていたが今後は相当厳しいものが見込まれる。民間委託については、市民サービスの面、経済効率、管理の方法などを総合的に検討するなかで慎重な対応をはかっていく考えであるが、現在のところ基本的な方向づけはできていないので、それらを見きわめながら結論を出したい。

緑化事業については、本市においても積極的に取り組んでいるが、公共施設の緑化では現在六七パーセントの進捗率で、国体開催までに約十

万本の植樹を行う緑化作戦を展開している。また民間の方々には緑化に対する認識を高めて貰うため緑化教室の開設、記念植樹、苗木の配付等の事業を行っており、できるだけ早い時期に甲府市全体が緑に包まれるようにしたい。

市立甲府病院の将来展望については、現在、経営の健全化とサービスの向上に意欲的に取り組んでいる最中であり総合病院としてさらに発展させる努力を重ねていきたい。なお、今のところ医大開院の影響は現われていないが影響が出てくるのは必至だと予測されるので、なお一層経営努力し、どう改善したらよいかを研究していきたい。

次に、各会計別の審査の中で各委員から出されました主な要望、意見は次のとおりです。

課税客体の完全把握と適正課税を図るとともに、税の収入未済額解消には賦課徴収等の関係部課との連携をなお一層図り、滞納原因を明確にし関係諸規定に則った適正なる処理をすること。

水銀電池公害の実態の啓蒙と当面の防止策について早急に確立すること。

ゴミの減量化と資源回収のために有価物収集を強力に推進し、また不燃物と有価物収集日等の見直しを行い、より有効的な収集体系

を策定すること。

水田利用再編対策事業の本市独自の助成については、財政厳しい状況下であっても実効効果があるよう全庁的体制の中で継続に向け努力すること。

観光行政の一環として、郷土の歴史館建設を前向きに検討すること。

零細業者の基礎的力をたくわえる意味からも、より充実した商業診断の方策を講ずること。

常習浸水地域を明確に把握し、浸水頻度の多い箇所から応急的改修を逐次実施するよう配慮すること。

防災無線及び自主防災組織については、さらに一層の整備充実を図り万遺漏のない態勢をとること。

非常備消防については、地元住民の非常備消防に対する税外負担の解消に努めること。

本市の貴重な歴史的、文化的遺産



委員会の審査状況

である積石塚の保存活用については関係諸団体と協議のうえ早急に具体策を講ずること。

六十一年かいい国体に向け、選手強化対策の推進を図ること。

今後の学校建設に当たっては、将来の児童数の推移を見通す中で対処すること。

国保税収納率の一層の向上のために賦課方法の改善と効果的な徴収方法を検討すること。

下水道管布設工事施工にあたっては、地下埋設物等の障害物等が予測されるので適切な調査をしたうえで工期を設定し、その工期内に完成できるように検討するとともに他の機関による工事の期間との一元化を図り、交通渋滞等市民生活に支障を来さないよう十分関係機関と協議を図ること。

中央卸売市場については、市民の食生活の安全確保のため、食品添加物についての監視体制強化の充実を図ること。

水道事業のうち施設費繰越の中に工事完成時期のわずかな日数のずれによって翌年度へ繰越されている工事が多いが、今後は工事の進捗状況を常に把握するとともに、関係する部局との連携を密にして工期の設定をし年度内に完成できるように検討すること。

漏水量は配水量の約二〇パーセントを占め、減少してきているとはいえないので換算額は多額であるので、計画的な漏水調査・修理及び漏水多発路線の布設替等漏水対策をなお一層行い、有収率の向上に努めること。

# 地方行財政対策に関する 調査特別委員会の調査状況

昭和五十八年九月市議会定例会において設置されました「地方行財政対策に関する調査特別委員会」においては、以来十月二十五日、十一月四日、二十九日、十二月一日、二日の五回にわたり委員会は開催されました。

第一回目の委員会は開催された十月二十五日においては、調査日程等について協議を行いました。調査日数については、月一・二回程度開催し、二年間で計四十回程度開催することを決定いたしました。調査日程の大綱については、

①調査方針及び調査日程について協議、確認

②市当局の自主的行政改革に関する方針、本市財政、行政実態を聴取

③市民及び各種市民団体、学識経験者、報道機関等から行財政対策に関する意見、提言を聴取または意見交換を行う。

④具体的な調査項目の設定及び調査日程の作成（事実上の調査活動の開始）

⑤各調査項目別に当局から現状と問題点をヒヤリング（現場視察を含む）。必要に応じ、当局から自主的

⑥特別委員会内部で問題点を抽出、分析する。

⑦審査結果をまとめ、報告書を作成する。

この調査順の議題により、今後の

特別委員会を開催することを決定いたしました。

また昭和五十九年九月定例会には一年間の委員会活動の状況と中間的結論を報告する中間報告書を出すことを決定いたしました。

第二回目の委員会は十一月四日に開催し、前回の委員会で決定した調査日程のとり、市当局の行財政改革に取組む方針と行財政の現状と課題について、市長、助役、企画部長、調整管理部長から説明をうけました。

第三回目は十一月二十九日開催し、報道関係者から本市行財政に関する意見、提言を聞き、そのあと、委員との意見交換を行いました。

第四回、第五回目は十二月一日、二日に開催され、各種団体代表者及び一般市民計二十二名から本市行財政に関する提言、意見を聴取いたしました。

なお、意見・提言を聴取した各種団体及び一般市民の出席者は次のとおりです。（敬称略）

- 甲府商工会議所 依田 欣也
- 山梨県中小企業団体中央会 返田 文夫
- 甲府民主商工会 青木 松三
- 東京地方税理士会甲府支部 窪田 道也
- 山梨県労働組合総連合会 上田 利正
- 自治労山梨県本部 笠井 豊明

- 甲府市職員組合 金箱 憲一
- 民主青年同盟（国中地区委員会） 山本 功
- 社会主義青年同盟山梨地区本部 志村 優
- 山梨県労働組合総連合会主婦の会 原 美智子
- 甲府主婦同盟 花上 満寿代
- 新日本婦人の会甲府支部 田草川 恒子
- 日本婦人会議山梨県本部 向山 き久子
- 甲府市連合婦人会 小野 俊子
- 一般市民（甲府市婦人大学講座生） 塩瀬 君代
- 甲府青年会議所 原 龍二
- 甲府市社会福祉協議会 窪田 一雄
- 甲府市小中学校PTA連合会 高野 立夫
- 甲府市小中学校校長会 河住 正雄
- 甲府市自治連合会 東条 欣三
- 行財政改革推進甲府市民会議 藤原 洋
- 一般市民（元市議会議員） 秋山 慎次郎



委員会の調査状況

## 国立病院・療養所の統廃合や縮小等に反対し一層の充実強化を求め る意見書

去る五月二十四日の閣議で決定された「行革大綱」には、国立病院・療養所の統廃合や縮小、地方自治体や民間への払い下げを含む移譲並びに現場業務の全面下請け等の方針が打ち出されています。しかしこの「大綱」にそって国立病院等を縮小し、なくすことは、これらの医療機関が今日まで地域の

一、現場業務の民間委託は医療機関として制約の多い問題であるので従来の経緯をふまえるなかで安易に行わないこと。  
一、国立病院・療養所が地域住民の疾病構造の変化や医療需要に対応できるよう、その機能・役割の強化、拡大を図ること。  
山の緑を守り民間林業労働者の雇用安定、労働条件等の抜本的改善に関する意見書  
森林は、国土の保全、水資源の公

## 意見書

今定例会最終日の十二月二十三日の本会議で意見書二件を可決し、地方自治法第九十九条第二項の規定に基づき、内閣総理大臣ほか関係大臣にそれぞれ提出しました。

森林を守り育てる民間林業労働者の実情は、他産業に例をみない劣悪な処遇、労働条件の下にあり、後継者不足による労働力の高齢化、農山村の過疎化の進行等憂慮すべき状態となっております。

去る五月二十四日の閣議で決定された「行革大綱」には、国立病院・療養所の統廃合や縮小、地方自治体や民間への払い下げを含む移譲並びに現場業務の全面下請け等の方針が打ち出されています。しかしこの「大綱」にそって国立病院等を縮小し、なくすことは、これらの医療機関が今日まで地域の

一、国立病院・療養所の廃止や地方自治体・民間への移譲計画の策定をとりやめること。  
森林、林業の担い手確保と民間林業労働者の労働条件等の抜本的改善のため、速やかに法制定を含め最善の方途が講ぜられるよう強く要望するものであります。

# 請願の 審査結果

採択されたもの

〔民生委員会〕

○国立病院・療養所の統廃合、縮小移譲等反対と、国立医療機関の充実、強化（国立療養所西甲府病院内・渡辺光生）

〔建設経済委員会〕

○山の緑を守り、民間林業労働者の雇用安定、労働条件等の抜本的改善（山梨県労農共闘会議議長・上田利正）

継続審査するもの

〔総務委員会〕

○「甲府駅貨物取扱廃止」反対（山梨県交通運輸労働組合協議会議長・山本辰男ほか）

○議員定数削減条例の制定等（甲府市の行財政改革推進を求める市民の会会長・山中繁芳ほか）

〔民生委員会〕

○老人保健法を改め、老人医療無料制度の復活、拡充（新日本婦人の会甲府支部代表・中野朱実枝）

〔建設経済委員会〕

○城東地区区画整理事業計画及び調査反対（甲府市城東三丁目十六番十六号・小佐野総一郎ほか）

○中小小売業者の育成のために大企業系スーパー規制等（山梨県生鮮三品協同組合連合会会長・飯島哲ほか）  
○大型店の出店規制及び営業時間の短縮等（丸福青果商業協同組合理事長・広瀬正留ほか）

# 議会を 傍聴して



山岡 芳秀（58才）

甲府市上帯那町一三二一番地

整然と市議会からの質問も内容のあるものでした。福祉対策、教育問題、交通対策、環境整備、下水道、帯那地区の水道対策等それぞれの議員があなたがいの立場において多くの質問をなされました。二十万市民にとってはすべての質問もみんな大切ですが、私もすぐに必要な質問でありました。この質問に対し市当局の答弁は、市民にわかりやすくしかも簡潔な答弁をされ、市長の基本姿勢であります市民党的立場を堅持した市民本位の市政と市民から信頼と協調を得る公正、清潔、誠実の市政を進めるとの答弁であったと感じました。行財政改革に伴う国の厳しい財政状況下で健康管理助成金等については、国からの圧力で存続が危ぶまれているこの問題等が論議の焦点だったではないかろうかと思えます。それを市当局

がどの様なかたちで対応して行くかが市民の注目するところではないかと思えます。それから対話集会を小単位にする考えはないのかという質問に対し、小単位の対話集会でも時間の許す限り実施したいとの市長答弁があり、市民としては大変嬉しく期待したいと思えます。多くの市民からの意見を聞いて戴き心と心のふれあいの場を重ねることが、市長が言う、「明るい住み良い豊かな町づくり」「緑と文化のふれあいの町づくり」が出来るものと信じ、これからの市政が市長と共にあることをあらためて認識いたしました。

甲府市青葉町九番三号

中田 英子（46才）

市議会の一般質問の中で、青少年対策についての質問があり私達子供を持つ親として、本当に切実に感じました。年毎に犯罪は低年令化し、社会環境の複雑多様化の時代にお互いの連帯は薄れ、他人の子はどうあれ我が子さえ良ければと言う考えの中でお互いが「怒」る事を忘れていきます。こうした社会で育った子供達の事を考えると将来に不安を感じます。自己愛だけが先に走り、社会性、協

調性などは生れず、他者への愛情は欠けており、母親のしつかりした、「しつけ」こそ大切だと思えます。幸いにして市政に於いても青少年対策の根本はやはり家庭、学校、地域が一体となって取り組む事が基本であるため、全市の中に三地区をモデル地区として設定しスライド、映画会等を行い住民集会などで問題を提起し、地域住民全体で取り組んで行く必要があるのではないのでしょうか。青少年問題の解決にあたっては、私達も母親サイドで協力して行かなければならないと思えます。

今回事政モニターと言う事で議会の傍聴をしましたが、大変参考になりました。これからも多くの主婦の皆様にも機会を与えていただき傍聴される事をお奨め致します。

甲府市相生二丁目六番六号

今沢 良子（48才）

一般質問の中で各議員から出た共通の問題は防災についてでした。甲府市民の記憶に生々しい八月八日の震度4の地震、それから八月十六、十七日の台風災害があつた為でしようか、「災害は忘れた頃にやってくる」と良く言われますが、最近では災害と隣り合せて生活している様な気が致します。一口に防災と言っても色々な角度から見ることが出来ます。そこには生活に密着したものが余りにも多いのではないかと思われ、自治会末端組織である隣組の訓練強化、災害危険個所の把握、防災無線が聞きとりにくい事への解決策等の質問がありました。それに答弁する

# 議会の会派が一部変更

市議会会派の政友会と市政同志会は五十八年十二月二十三日それぞれ会派の解散届が提出され、同日付で新しい会派、政友同志会が結成されました。これにより会派は政新会（代表者

・内藤秀治）十三名、政友同志会（代表者・小沢綱雄）十二名、社会党・市民連合（代表者・小林匡）六名、公明党（代表者・小林康作）五名、日本共産党（代表者・武川和好）二名の五会派となりました。

# 編集後記

◆明けましておめでとうございます。市民の皆様には、それぞれ新しい年への大きな期待を胸に、晴れやかな新春をお迎えになられたことと存じます。昨年は、選挙に明け選挙に暮れた一年でした。私達も当選らしい議会活動に全力投球で頑張っております。

◆本年は風も無く、おだやかな天候が続いていますが、寒さはとても厳しくまだまだ続きそうです。健康に留意し風邪等にかからぬよう十分ご注意ください。

◆本号は十二月定例会の一般質問と昭和五十七年度の各決算の認定、また昨年九月に設置した「地方行政対策に関する調査特別委員会」の調査状況を中心に編集いたしました。

これからもなお一層読みやすく、親しみやすい紙面づくりを目標に、編集委員一同心がけてまいります。なお、議会だよりに対するご意見ご要望等がありましたら、議会事務局までお寄せください。